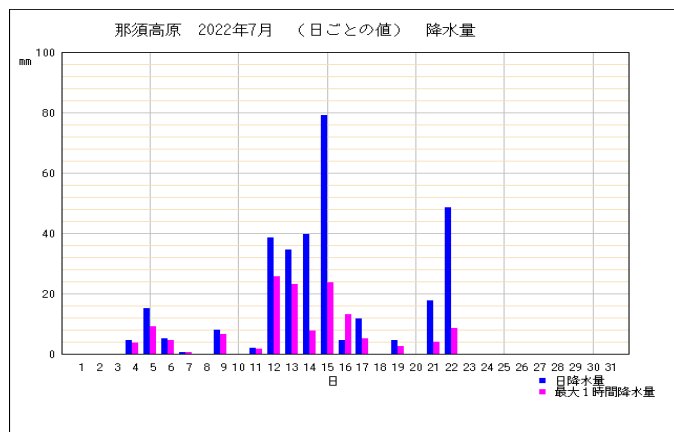


2022.07.18 木ノ俣川西俣沢左股

メンバー：宇都宮溪嶺会 上小牧・小濱(記)

7/12~17 は梅雨の戻りでずっと雨が降っていたが、那須高原のアメダスを見ると直近 3 日の降水量はそこまででもない。とりあえず行ってみて現地判断。



発電所に見える橋の手前から西俣沢に入渓。すぐに水量の多さを感じる。数位は平水より 10 cm くらい高そう。少し歩くと大きな釜を持つ 5m 滝。側壁の藪が水流に巻き込まれていて、明らかに増水している。これを登るとすぐ左に 10m 越えの立派な滝があり、ものすごい勢いで水を飛ばしている。滝壺から上がる飛沫と爆音がすごい。こわい。左岸から巻く。

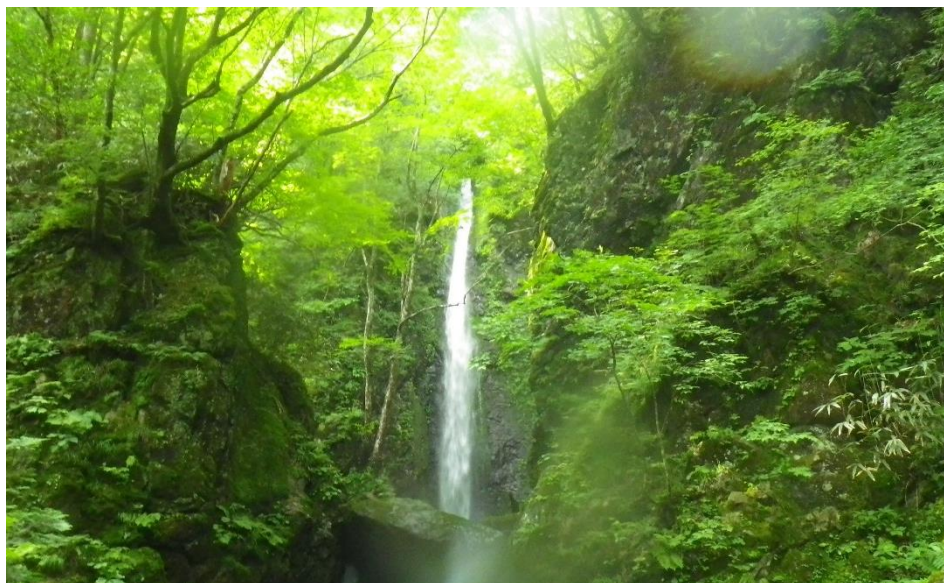


5 m 滝上の側壁をへつる上小牧さん

その後も水量が多く、水面が泡立って足の置き場が見えない。少しずつ慣れてきた頃に、取水所に続く巡視路の橋が見える。橋はかなり立派で巡視路も十分手入れされていた。撤退にも使えそうで、先の 10m 滝の迫力に押されて完全に尻尾を巻いていた小濱は、二俣から撤退するなら楽が出来そうだな・・・と考えていた。

二俣を過ぎると水量はかなり落ち着いた。これなら何とかいけるかな？ということで遡行を続行する。

小屋ノ沢は右岸から滝で出会い、本流の奥には40mの大滝。記録だと2段のはずだが、増水で繋がっている。明らかに登れない直爆で、少し戻って左岸から大高巻き。熊笹とシャクナゲの藪で手間がかかる。なかなかトラバースできるポイントが見つからず、かなり大高巻きになってしまった。小尾根を越えて懸垂なしで沢に降りる。滝下から約1時間。



40m 大滝 増水で1段目と2段目が繋がっている

大滝から先も沢の斜度が落ちず滝が続く。登れる滝は良いのだが、登れない滝の巻が悪い。今シーズン初めてハンマーを手掛かりにして泥壁を登った。水量が少なくなっても滝は続く。。。

最後は藪漕ぎ無しで黒滝山と西村山の鞍部に出た。鞍部から黒滝山へは踏み後&テープあり。百村山を少し過ぎた所から尾根沿いに北へ下る道が付いていて、かなりショートカットができる。

百村山頂上近くの登山道に猫がいた。5m くらいまで近づいても全く気が付かず、上小牧さんが声をかけたらビックリして逃げて行った。山猫？

### 行動記録

6:30 入溪 > 9:00 取水所 > 9:15 大滝下 >  
15:00 黒滝山 > 18:00 下山

